

乳用牛

試行版 第1版

畜産物の温室効果ガス簡易算定シート 【データ入力シート】 黄色セルに、リストから選択又は数値をご記入ください。

基本情報

生乳出荷量 (kg・生乳/年)	221,811	
未經産牛（育成用雌子牛含む）（頭）	4	—①
経産牛数（頭）	24	—②
うち初産（頭）	8	—③
うち二産（頭）	7	—④
うち三産以上（頭）	10	—⑤
搾乳牛数（頭）	22	—⑥
乾乳牛数（頭）	2	—②-⑥
乳脂肪率（％）	3.80	—⑦
所在地（都道府県）	北海道	
放牧	有	
預託	有	
預託頭数（頭）	1	
預託開始月齢（カ月）	8	
預託終了月齢（カ月）	23	
導入/販売	有	
生涯飼育期間	統計値を使う	
導入頭数（頭）	1	
導入月齢（カ月）	6	
販売頭数（頭）	1	
販売月齢（カ月）	5	

	未經産牛 (育成用雌牛も含む)
初産分娩月齢 (か月)	標準値を使う

飼料			
畜種	データ単位	乳用種	
		搾乳牛	乾乳牛・未経産牛 (育成用雌子牛含む)
乾物摂取量	kg/頭/年	推計値を使う	推計値を使う
CP	乾物%	推計値を使う	推計値を使う
3-NOP	-	使用している	使用していない
	mg/頭/日	100.0	
アミノ酸バランス改善飼料	-	使用していない	使用していない

項目			データ	標準値（自動入力）	データ単位	データ入力（農場全体）	産地	温室効果ガス排出量	標準値との差分	標準値	温室効果ガス排出量
飼料	粗飼料	生牧草	データを入力する		年	kg/年	① 所在地と同一/隣接都道府県 産	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		乾牧草	データを入力する		日	kg/日	② ①以外の国内 産	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		サイレージ（稲WCS）	データを入力する		年	kg/年	③ 北米 産	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		サイレージ（稲WCS以外）	標準値を使う	kg/年		④ 南米 産	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年	
		稲わら	標準値を使う	kg/年		⑤ 豪州 産	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年	
	濃厚飼料	配合飼料	データを入力する		年	kg/年	－	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		トウモロコシ	標準値を使う	kg/年		⑥ アジア 産	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年	
		飼料用米	標準値を使う	kg/年		① 所在地と同一/隣接都道府県 産	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年	
		エコフィード	標準値を使う	kg/年		① 所在地と同一/隣接都道府県 産	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年	
		その他濃厚飼料	データを入力する		年	kg/年	① 所在地と同一/隣接都道府県 産	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年

排泄物処理	処理方法 1	処理方法 2	処理方法 3	処理方法 4
排泄物処理方法	ふん尿混合	ふん尿分離	ふん尿混合	—
ふん		開放型強制発酵		
尿		貯留（1ヶ月以内）		
ふん尿	堆積発酵		メタン発酵	
処理方法別割合	2	1	1	

(比率を入力)

燃料・電力使用量	データ	標準値（自動入力）	データ単位	データ入力	畜産物生産（自給飼料生産を除く）に係る割合	温室効果ガス排出量	標準値との差分	標準値	温室効果ガス排出量	チェック
A重油	データを入力する		体積 (L)	L/年	%	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	L/年	kg-CO2e/年	OK
軽油	データを入力する		体積 (L)	L/年	%	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	L/年	kg-CO2e/年	OK
灯油	データを入力する		体積 (L)	L/年	%	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	L/年	kg-CO2e/年	OK
ガソリン	標準値を使う	L/年				kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	L/年	kg-CO2e/年	OK
系統電力	標準値を使う	kWh/年				kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kWh/年	kg-CO2e/年	OK
LPG	標準値を使う	m3/年				kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	m3/年	kg-CO2e/年	OK
都市ガス	標準値を使う	m3/年				kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	m3/年	kg-CO2e/年	OK

乳用牛

算定結果表示シート

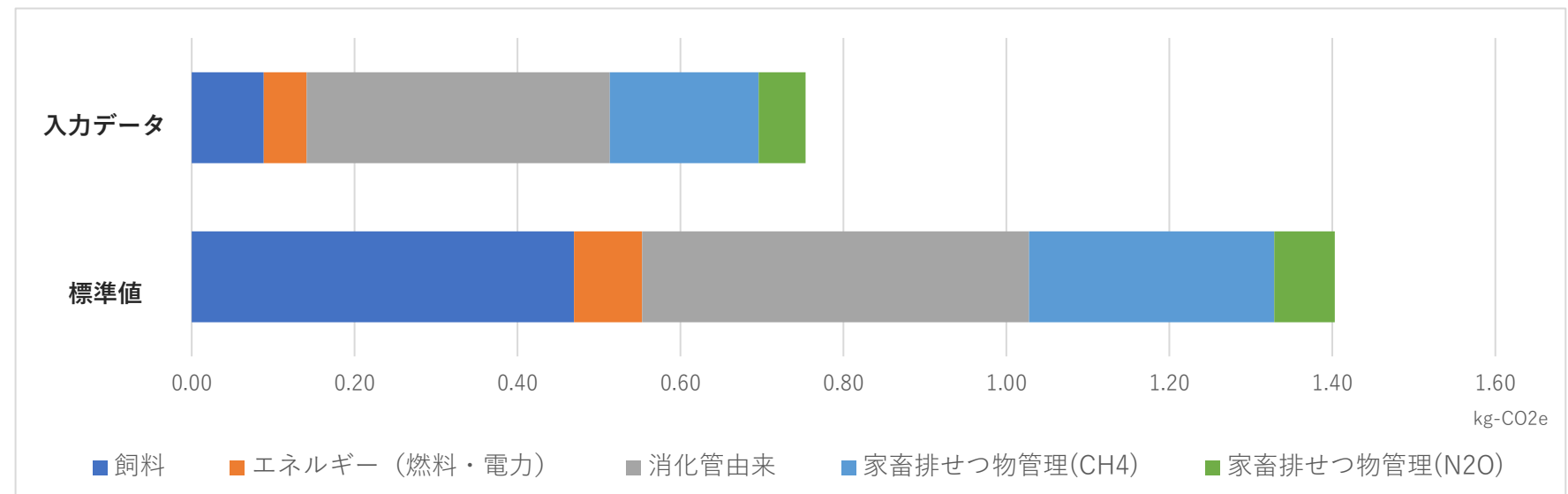
畜種	乳用種
生産地	北海道
算定者	算定 太郎
算定者連絡	03-*****-*****
算定実施日	2026年1月7日
データ収集期間	2025年1月1日～2025年12月31日
温室効果ガス排出量削減の取り組み	効率的な飼料の給餌
	国産飼料の活用
	3-NOPの使用
	-
	省エネルギー
	排せつ物処理

<p>本算定について</p> <p>算定範囲は原材料調達段階および生産段階です。本算定における「標準値」は、同畜種（乳用種）における統計データ等に基づき算定した結果です。本算定では、標準値に比して、生乳 1 kg 当たりのGHG排出量が^a-46.3%となることが見込まれる結果となりました。</p> <p>本算定シートは、令和 5 年度脱炭素化フードサプライチェーン推進事業における「畜産物の簡易算定シート」により算定した結果です。本算定は2025年1月1日～2025年12月31日のデータに基づき算定した実績値であり、生産年により算定値は変動することが予想されます。</p> <p>「標準値」および「GHG排出削減率」は、削減努力を示すために参考情報として設定したものです。削減率は目安としてお使いください。また、本算定は気候変動に対する影響の削減を行ったもので、その他の環境側面は評価していません。</p> <p>算定者により算定方法の異なる場合がありますので、本シートの算定結果間の比較はできません。</p>
自由記述欄

生乳1kgあたりの温室効果ガス排出削減量（CO₂換算値）

GHG削減量（対標準値）※マイナス表記が削減分、プラス表記は増加		割合
合計	-0.65 kg-CO2e/kg	-46.30%
飼料	-0.38 kg-CO2e/kg	-81.13%
エネルギー（燃料・電力）	-0.03 kg-CO2e/kg	-36.58%
消化管由来	-0.10 kg-CO2e/kg	-23.69%
家畜排せつ物管理(CH4)	-0.12 kg-CO2e/kg	-39.39%
家畜排せつ物管理(N2O)	-0.02 kg-CO2e/kg	-22.56%

生乳1kgあたりのGHG排出量



入力したデータに基づくGHG排出量（生乳1kgあたり）※1			標準値（生乳1kgあたり）※1		
生乳1kgあたりのGHG排出量	0.75 kg-CO2e/kg	割合	1.40 kg-CO2e/kg	割合	
飼料	0.09 kg-CO2e/kg	<div><div></div></div> 11.75%	0.47 kg-CO2e/kg	<div><div></div></div> 33.46%	
エネルギー（燃料・電力）	0.05 kg-CO2e/kg	<div><div></div></div> 7.00%	0.08 kg-CO2e/kg	<div><div></div></div> 5.92%	
消化管由来	0.37 kg-CO2e/kg	<div><div></div></div> 49.38%	0.48 kg-CO2e/kg	<div><div></div></div> 33.86%	
家畜排せつ物管理(CH4)	0.18 kg-CO2e/kg	<div><div></div></div> 24.21%	0.30 kg-CO2e/kg	<div><div></div></div> 21.45%	
家畜排せつ物管理(N2O)	0.06 kg-CO2e/kg	<div><div></div></div> 7.66%	0.07 kg-CO2e/kg	<div><div></div></div> 5.31%	

※1 4%脂肪補正乳量。(標準値は生乳出荷量:8068kg/頭/年(北海道)、生乳出荷量:8540kg/頭/年(都府県)、乳脂肪率:3.92%として換算)

入力したデータに基づくGHG排出量（生乳1kgあたり）※2			
生乳1kgあたりのGHG排出量	0.73 kg-CO2e/kg		割合
飼料	0.09 kg-CO2e/kg	<div><div></div></div>	11.75%
エネルギー（燃料・電力）	0.05 kg-CO2e/kg	<div><div></div></div>	7.00%
消化管由来	0.36 kg-CO2e/kg	<div><div></div></div>	49.38%
家畜排せつ物管理(CH4)	0.18 kg-CO2e/kg	<div><div></div></div>	24.21%
家畜排せつ物管理(N2O)	0.06 kg-CO2e/kg	<div><div></div></div>	7.66%

※2 脂肪補正前乳量。

肉用牛繁殖・育成

試行版 第1版 Ver.0.4

畜産物の温室効果ガス簡易算定シート 【データ入力シート】 黄色セルに、リストから選択又は数値をご記入ください。

基本情報

畜種	肉用種			乳用種	交雜種		合計
	雄子牛	雌子牛	繁殖雌牛	雄子牛	雄子牛	雌子牛	
年間出荷頭数（頭/年）	100	100	-	100	200	200	700頭
年間飼養頭数（頭/年）	-	-	150	-	-	-	-
出荷時月齢（か月齢）	8	10	-	6	6	6	-
出荷時体重（kg/頭）	296	284	-	286	286	286	-

所在地（都道府県）	鹿児島県
放牧	有

飼料

畜種	データ単位	肉用種			乳用種	交雑種	
		雄子牛	雌子牛	繁殖雌牛	雄子牛	雄子牛	雌子牛
乾物摂取量	kg/頭/年	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う
CP	乾物%	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う
アミノ酸バランス改善飼料	-	使用していない	使用していない	使用していない	使用していない	使用していない	使用していない

項目			データ	標準値（自動入力）	データ単位	データ入力（農場全体）	産地	温室効果ガス排出量	標準値との差分	標準値	温室効果ガス排出量
飼料	粗飼料	生牧草	データを入力する		年	kg/年	① 所在地と同一/隣接都道府県 産	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		乾牧草	データを入力する		日	kg/日	① 所在地と同一/隣接都道府県 産	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		サイレージ（稲WCS）	データを入力する		年	kg/年	① 所在地と同一/隣接都道府県 産	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		サイレージ（稲WCS以外）	データを入力する		日	kg/日	② ①以外の国内 産	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		稲わら	データを入力する		年	kg/年	③ 北米 産	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
	濃厚飼料	配合飼料	標準値を使う	kg/年			－	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		トウモロコシ	標準値を使う	kg/年			④ 南米 産	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		飼料用米	標準値を使う	kg/年			⑤ 豪州 産	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		エコフィード	標準値を使う	kg/年			⑥ アジア 産	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		その他濃厚飼料	標準値を使う	kg/年			⑦ 欧州 産	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年

排せつ物処理	処理方法 1	処理方法 2	処理方法 3	処理方法 4
排せつ物処理方法	ふん尿混合	ふん尿分離	—	—
ふん		メタン発酵		
尿		天日乾燥		
ふん尿	堆積発酵			
処理方法別割合	1	3		

(比率を入力)

育成に係る燃料・電力使用等

燃料・電力使用量	データ	標準値（自動入力）	データ単位	データ入力	畜産物生産（自給飼料生産を除く）に係る割合	温室効果ガス排出量	標準値との差分	標準値	温室効果ガス排出量
A重油	データを入力する		体積 (L)	L/年	100 %	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	L/年	kg-CO2e/年
軽油	データを入力する		体積 (L)	L/年	75 %	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	L/年	kg-CO2e/年
灯油	データを入力する		体積 (L)	L/年	50 %	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	L/年	kg-CO2e/年
ガソリン	標準値を使う	L/年				kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	L/年	kg-CO2e/年
系統電力	標準値を使う	kWh/年				kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kWh/年	kg-CO2e/年
LPG	標準値を使う	m3/年				kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	m3/年	kg-CO2e/年
都市ガス	標準値を使う	m3/年				kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	m3/年	kg-CO2e/年

チェック
OK
OK
OK
OK
OK
OK

肉用牛繁殖・育成

算定結果表示シート

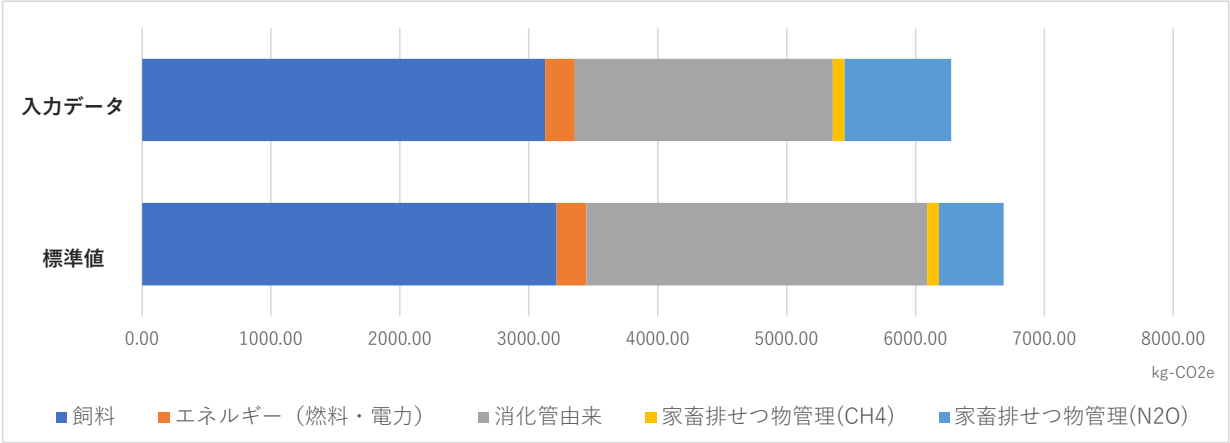
製品名	肉用種
生産地	鹿児島県
算定者	算定 太郎
算定者連絡	03-****-****
算定実施日	2026年1月7日
データ収集期間	2025年1月1日～2025年12月31日
温室効果ガス排出量 削減の取り組み	効率的な飼料の給餌
	国産飼料の活用
	-
	省エネルギー
	-

本算定について
算定範囲は原材料調達段階および生産段階です。本算定における「標準値」は、同畜種（肉用種）における統計データ等に基づき算定した結果です。本算定では、標準値に比して、1頭当たりのGHG排出量が-6.09%となることが見込まれる結果となりました。 本算定シートは、令和5年度脱炭素化フードサプライチェーン推進事業における「畜産物の簡易算定シート」により算定した結果です。本算定は2025年1月1日～2025年12月31日のデータに基づき算定した実績値であり、生産年により算定値は変動することが予想されます。 「標準値」および「GHG排出削減率」は、削減努力を示すために参考情報として設定したものです。削減率は目安としてお使いください。また、本算定は気候変動に対する影響の削減を行ったもので、その他の環境側面は評価していません。 算定者により算定方法の異なる場合がありますので、本シートの算定結果間の比較はできません。
自由記述欄

1頭あたりの温室効果ガス排出削減量（CO₂換算値）

GHG削減量（対標準値）※マイナス表記が削減分、プラス表記は増加	割合
合計	-406.68 kg-CO2e/頭 -6.08%
飼料	-87.60 kg-CO2e/頭 -2.72%
エネルギー（燃料・電力）	-2.30 kg-CO2e/頭 -1.00%
消化管由来	-642.47 kg-CO2e/頭 -24.29%
家畜排せつ物管理(CH4)	-0.58 kg-CO2e/頭 -0.64%
家畜排せつ物管理(N2O)	+326.27 kg-CO2e/頭 65.03%

1頭あたりのGHG排出量



入力したデータに基づくGHG排出量（肉用種雄子牛 1頭あたり）			標準値（肉用種雄子牛 1頭あたり）	
1頭あたりのGHG排出量	6276.97 kg-CO2e/頭	割合	6683.65 kg-CO2e/頭	割合
飼料	3127.52 kg-CO2e/頭	49.83%	3215.12 kg-CO2e/頭	48.10%
エネルギー（燃料・電力）	228.94 kg-CO2e/頭	3.65%	231.25 kg-CO2e/頭	3.46%
消化管由来	2002.60 kg-CO2e/頭	31.90%	2645.07 kg-CO2e/頭	39.58%
家畜排せつ物管理(CH4)	89.94 kg-CO2e/頭	1.43%	90.52 kg-CO2e/頭	1.35%
家畜排せつ物管理(N2O)	827.96 kg-CO2e/頭	13.19%	501.70 kg-CO2e/頭	7.51%

肉用牛肥育

試行版 第1版 Ver.0.4

畜産物の温室効果ガス簡易算定シート 【データ入力シート】 黄色セルに、リストから選択又は数値をご記入ください。

子牛生産に係るGHG排出量

畜種	肉用種		乳用種	交雑種	
	雄子牛	雌子牛	雄子牛	雄子牛	雌子牛
1頭あたりの GHG排出量(kg-CO2e/頭)	データを入力する	標準値を使う	標準値を使う	標準値を使う	標準値を使う
	6,000.00				

基本情報

畜種	肉用種			乳用種	交雑種		合計
	去勢牛	雌牛(未經産)	雌牛(経産)	去勢牛	去勢牛	雌牛(未經産)	
年間出荷頭数(頭/年)	100	100	100	10	10	10	330頭
肥育開始時月齢(か月齢)	標準値を使う		標準値を使う				-
							-
肥育開始時体重(kg/頭)							-
							-
出荷時月齢(か月齢)	25	25	120	26	26	26	-
出荷時枝肉重量(kg/頭)	480.0	417.0	355.0	487.0	476.1	476.1	-

所在地（都道府県）	鹿児島県
放牧	無

飼料

畜種	データ単位	肉用種			乳用種	交雑種	
		去勢牛	雌牛(未経産)	雌牛(経産)	去勢牛	去勢牛	雌牛(未経産)
乾物摂取量	kg/頭/日	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う
CP	乾物%	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う	推計値を使う
アミノ酸バランス改善飼料	-	使用していない	使用していない	使用していない	使用していない	使用していない	使用していない
バイパスアミノ酸添加飼料	-	使用していない	使用していない	使用していない	使用していない	使用していない	使用していない

項目			データ	標準値（自動入力）	データ単位	データ入力	産地		温室効果ガス排出量	標準値との差分	標準値	温室効果ガス排出量
飼料	粗飼料	生牧草	データを入力する		年	kg/年	① 所在地と同一/隣接都道府県	産	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		乾牧草	データを入力する		日	kg/日	① 所在地と同一/隣接都道府県	産	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		サイレージ（稲WCS）	データを入力する		年	kg/年	① 所在地と同一/隣接都道府県	産	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		サイレージ（稲WCS以外）	データを入力する		日	kg/日	② ①以外の国内	産	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		稲わら	データを入力する		年	kg/年	③ 北米	産	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
	濃厚飼料	配合飼料	標準値を使う	kg/年			－		kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		トウモロコシ	標準値を使う	kg/年			④ 南米	産	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		飼料用米	標準値を使う	kg/年			⑤ 豪州	産	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		エコフィード	標準値を使う	kg/年			⑥ アジア	産	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年
		その他濃厚飼料	標準値を使う	kg/年			⑦ 欧州	産	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kg/年	kg-CO2e/年

排せつ物処理	処理方法 1	処理方法 2	処理方法 3	処理方法 4
排せつ物処理方法	ふん尿混合	—	—	—
ふん				
尿				
ふん尿	堆積発酵			
処理方法別割合				

(比率を入力)

経営に係る設備関連のエネルギー等

燃料・電力使用量	データ	標準値（自動入力）	データ単位	データ入力	畜産物生産（自給飼料生産を除く）に係る割合	温室効果ガス排出量	標準値との差分	標準値	温室効果ガス排出量	チェック
A重油	標準値を使う	L/年				kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	L/年	kg-CO2e/年	OK
軽油	標準値を使う	L/年				kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	L/年	kg-CO2e/年	OK
灯油	標準値を使う	L/年				kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	L/年	kg-CO2e/年	OK
ガソリン	データを入力する		体積 (L)	L/年	100 %	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	L/年	kg-CO2e/年	OK
系統電力	データを入力する		電力量 (kWh)	kWh/年	80 %	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	kWh/年	kg-CO2e/年	OK
LPG	データを入力する		体積 (m3)	m3/年	0 %	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	m3/年	kg-CO2e/年	OK
都市ガス	データを入力する		体積 (m3)	m3/年	50 %	kg-CO2e/年	kg-CO2e/年	m3/年	kg-CO2e/年	OK

肉用牛肥育

算定結果表示シート

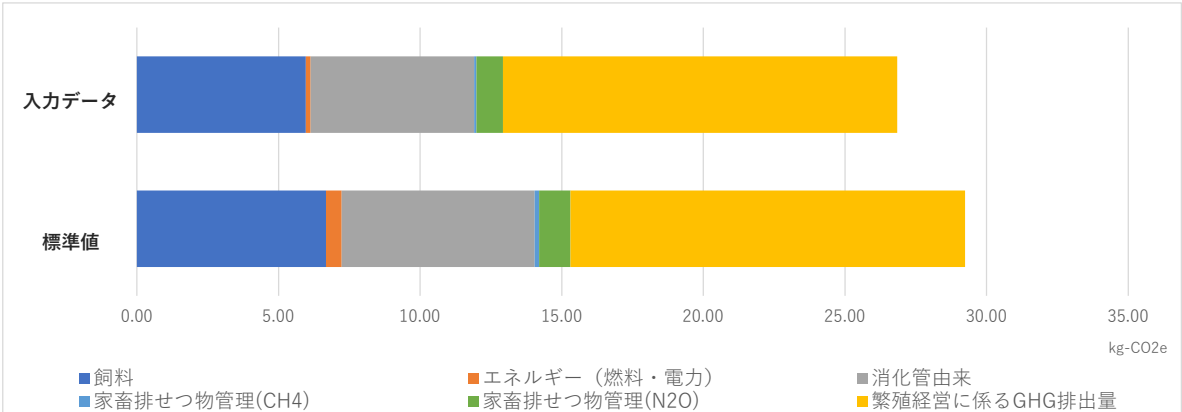
製品名	肉用種
生産地	鹿児島県
算定者	算定 太郎
算定者連絡	03-****-****
算定実施日	2026年1月7日
データ収集期間	2025年1月1日～2025年12月31日
温室効果ガス排出量 削減の取り組み	効率的な飼料の給餌
	国産飼料の活用
	-
	-
	省エネルギー
	排せつ物処理

本算定について
算定範囲は原材料調達段階および生産段階です。 本算定における「標準値」は、同畜種（肉用種）における統計データ等に基づき算定した結果です。 本算定では、標準値に比して、 1頭当たりのGHG排出量が-8.19%となることが見込まれる結果となりました。 本算定シートは、令和5年度脱炭素化フードサプライチェーン推進事業における「畜産物の簡易算定シート」により算定した結果です。本算定は2025年1月1日～2025年12月31日のデータに基づき算定した実績値であり、生産年により算定値は変動することが予想されます。 「標準値」および「GHG排出削減率」は、削減努力を示すために参考情報として設定したものです。削減率は目安としてお使いください。また、本算定は気候変動に対する影響の削減を行ったもので、その他の環境側面は評価していません。 算定者により算定方法の異なる場合がありますので、本シートの算定結果間の比較はできません。
自由記述欄

枝肉1kgあたりの温室効果ガス排出削減量（CO₂換算値）

GHG削減量（対標準値） ※マイナス表記が削減分、プラス表記は増加	割合	
合計	-2.39 kg-CO2e/kg	-8.18%
飼料	-0.71 kg-CO2e/kg	-10.60%
エネルギー（燃料・電力）	-0.39 kg-CO2e/kg	-70.31%
消化管由来	-1.04 kg-CO2e/kg	-15.24%
家畜排せつ物管理(CH4)	-0.07 kg-CO2e/kg	-49.35%
家畜排せつ物管理(N2O)	-0.18 kg-CO2e/kg	-16.33%
繁殖経営に係るGHG排出量	0.00 kg-CO2e/kg	0.00%

枝肉1kgあたりのGHG排出量



入力したデータに基づくGHG排出量（枝肉1kgあたり）			標準値（枝肉1kgあたり）		
枝肉1kgあたりのGHG排出量	26.84 kg-CO2e/kg	割合	29.24 kg-CO2e/kg	割合	
飼料	5.96 kg-CO2e/kg	22.21%	6.67 kg-CO2e/kg	22.81%	
エネルギー（燃料・電力）	0.16 kg-CO2e/kg	0.61%	0.55 kg-CO2e/kg	1.89%	
消化管由来	5.78 kg-CO2e/kg	21.54%	6.82 kg-CO2e/kg	23.33%	
家畜排せつ物管理(CH4)	0.08 kg-CO2e/kg	0.29%	0.15 kg-CO2e/kg	0.52%	
家畜排せつ物管理(N2O)	0.93 kg-CO2e/kg	3.48%	1.12 kg-CO2e/kg	3.82%	
繁殖経営に係るGHG排出量	13.92 kg-CO2e/kg	51.87%	13.92 kg-CO2e/kg	47.63%	